



コイルを小型化したいという要望があります。そのため、従来品と比較して小型かつ、大電流・低Rdcを実現できるNRシリーズは、薄型テレビ向けチョークコイルを主要機器として採用が拡大してきました。

このたび、NR6028を発売することでNR60シリーズは1.2、2.0、2.8、4.5mmと4種類の高さを取り揃え、さらなる特性バリエーションの拡大を実現しました。

**この商品は、4月16日から幕張メッセ(千葉県美浜区)で開催される「TECHNO-FRONTIER 2008」の太陽誘電ブースにて展示します。**

NR6028のラインナップは以下の通りです。

品名	インダクタンス [ $\mu$ H]	Rdc [ $\Omega$ ]	定格電流 [A]max	
			直流重畳許容電流	温度上昇許容電流
NR6028T 0R9N	0.9	0.013	6.60	4.60
NR6028T 1R5N	1.5	0.016	5.00	4.20
NR6028T 2R2N	2.2	0.020	4.20	3.70
NR6028T 3R0N	3.0	0.023	3.60	3.40
NR6028T 4R7M	4.7	0.031	2.70	3.00
NR6028T 6R0M	6.0	0.040	2.50	2.50
NR6028T 100M	10	0.065	1.90	1.90
NR6028T 150M	15	0.095	1.60	1.80
NR6028T 220M	22	0.135	1.30	1.40
NR6028T 330M	33	0.22	1.10	1.10
NR6028T 470M	47	0.30	0.95	0.92
NR6028T 680M	68	0.42	0.76	0.77
NR6028T 101M	100	0.60	0.62	0.66

## ■ 用語解説

### (注1) 定格電流

インダクタの特性が保たれる電流値。単位はA(アンペア)。この数値が大きいほど、回路に大きな電流を流すことが可能となる。

### (注2) インダクタンス、 $\mu$ H

インダクタの代表的な電気特性。インダクタが交流に対して発生する磁界の強さを表す値。H(ヘンリー)はインダクタンスの単位を表す。 $\mu$ (マイクロ)は100万分の1。

### (注3) NRシリーズの構造

従来の巻線インダクタは、丸型のドラムコアに巻線を施し、それをスリーブと呼ばれるカバーで覆うが、NRシリーズでは角型のドラムコアに巻線し、その周りを樹脂で覆う。ドラムコアとスリーブの組み立てが不要になり、特性を維持したまま小型化を可能とした。

